



例年多くの観光客が訪れる「かなやま湖湖水まつり」

な環境対策や森林資源の不足などから輸入材が減少し、これに伴い国産材の価格が徐々に上向いてきており、林業の再活性化の兆しが見え始めております。

本町は、総面積の約90%を占める広大な森林を有しており、林業は農業とともに重要な基幹産業であり、森林を整備する中で地域林業生産活動の活性化を推進するとともに、林業労働者の減少と高齢化や担い手対策については、森林整備担い手対策推進事業に引き続き取り組み、森林環境の整備充実と森林資源の有効活用を図りながら森林産業の活性化に努めてまいります。

本年度事業は、町有林の人工林では、育成複層林化を目的とする抜き伐り事業と合わせた樹下植栽事業や除間伐事業、下刈事業を実施するほか、新植事業や緑資源機構分収造林事業に取り組んでまいります。

天然林については、森林資源の有効活用および林業労働者の雇用対策として、事業収支に配慮しながら択伐事業を推進して行くこととしており、

これに伴う調査費を予算に計上いたしました。

民有林の振興については、除間伐促進事業や造林事業を支援するため、引き続き所要の予算を計上いたしました。

林道整備では、森林管理道狩勝線の整備に継続して取り組み、道代行事業では、森林管理道湖畔線開設工事が本年度完成予定のほか、治山事業の保安施設事業として、「落合及び幾寅地区町民憩いの森」の森林整備や幾寅地区町民憩いの森では、魚道付きダムの新設、落合地区には既設ダムに魚道の整備が予定されています。

道有林事業では、東鹿越地区で東2沢予防治山事業、鹿の沢小規模治山事業並びに下金山地区では133中の沢小規模治山事業が予定されております。

商工鉱業の振興

町内の商工業を取り巻く環境は、過疎化・少子高齢化や消費の多様化、生活圏の拡大による購買力の流出により、依然として厳しい状況が続いており、更には公共事業の減

少や個人住宅などの建設投資の減少も加わり、商工業全体として厳しい環境が続いております。

商工振興については、行政予算執行の際には、効率的な消費向上などを図りながら商工業の振興に努めてまいりま



地域再生計画により活用される旧金山中学校

本年度中に事業の抜本的な見直しについて検討してまいります。

振興公社については、平成18年度から平成20年度までの3カ年による経営改善計画に基づき、現在、経営改善に取り組まれており、行政では、この改善計画について議会からご意見をいただく中で、公社の経営改善も念頭におき、業務の見直しを進めてまいりました。

本年度については、この経営改善はもとより、現在の経営体制について早い時期に見直しをし、これからの社会経済情勢の変化に対応しながら公社の持続性を高め、「雇用の創出、地域の活性化、産業の振興」の一端を担っていた

あんしんの南富良野

健やかな福祉のまち

次に、少子・高齢化時代を迎え、住民一人ひとりが自立しながら互いに支えあい、住みなれた地域で安心して暮らせるよう、生涯を通じた健康づくりをめざす、あんしんの南富良野 健やかな福祉のまちづくりであります。

保健・医療の充実

保健の充実については、町民の健康づくり計画「健やかみなみふらの」に基づき、生活習慣病の予防として南プミニドックの検査項目の拡大を図るとともに、一次予防の視点から青壮年層へ受診の働きかけを推進しながら、検診後の個別保健指導や集団支援（ヘルシーアップ教室）を継続的に実施し、発症予防と再発予防を図るため、より一層充実した内容で取り組んでまいります。

また、レセプト分析による医療費と疾病状況などの分析を行いながら、後期高齢者医療確保法に基づく、生活習慣病予防の健診・保健指導などの実施計画を策定してまいります。

観光の振興

観光振興については、引き続き富良野美瑛広域観光推進協議会の取り組みと連動し、国内外に対して本町の観光資源をPRし、観光客の増加に努めてまいります。

観光施設の整備は、南からの物産センターについて、道の駅としての機能を充実するため、高速道路自動車道通過市町村助成金事業により、老朽化による電気設備などを含めた一部改修をしてまいります。

観光協会については、昨年からの観光振興を住民・事業者の視点で取り組もうとする機運が高まり、現在、自主的な運営を目指してNPO法人化への移行作業が進められております。これまでの観光振興に対する取り組みは、行政が主導する中で、観光施設の整備をはじめ、各種イベント事業などを進めてまいりましたが、これからの本町の観光振興をステップアップさせるには、多くの方々の知恵と協力をいただきながら、大きな広がりの中で、進めていかな



ヘルシーアップ教室（運動教室）

適正化推進モデル事業により、医療費増加の原因究明と抑制に向けた取り組みを行ってまいります。

医療体制については、町内4診療所の医師による献身的な協力で地域医療が維持形成されており、本年度においても引き続き支援してまいります。

また、富良野地域センター病院である富良野協栄病院については、本年5月富良野駅裏に新設移転されることとなっており、1次医療機関の町内各診療所と富良野圏域の2次医療機関としての病診連

福祉の充実

福祉の充実については、先に重点事業で申し上げましたほか、高齢者福祉対策として生きがいデイサービスや配食サービス、除雪サービス、高齢者の安否確認、栄養改善、閉じこもりの防止など、住み慣れた場所安心して暮らし続けるための在宅福祉事業を継続して実施してまいります

とともに、社会福祉協議会に委託している町外への福祉移送サービス事業に対しても引き続き助成してまいります。また、社会福祉協議会は、地域住民の生活の課題に応える訪問介護事業など各種事業を展開し地域福祉を推進して